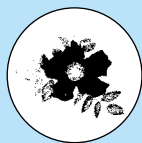
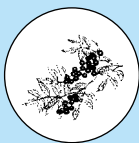


おこっぺ



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

議会だより

第163号

令和3年5月14日

発行／☎098-1692紋別郡興部町旭町興部町議会

TEL (0158) 82-2135
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会



全日本空手道連盟和道会興道館

第1回町議会定例会…… P2～3・P7～8

町政ここが聞きたい…………… P4～6

予算特別委員会・臨時会報告・議会の構成 …… P9～13

所管事務調査報告・議会の動き・議員活動報告 …… P14～15

今回の表紙・編集後記 …………… P16

令和3年第1回 町議会定例会のあらまし

令和3年第1回定例会は、3月2日(火)開会され、町政執行方針・教育行政執行方針・行政報告、議案等31件を審議、8日～10日の3日間で新年度予算等の付託議案を審議する予算特別委員会を開催、12日提案されたすべての案件を審議し閉会しました。

町長行政報告

新型コロナウイルス感染症について

国は、感染者の急速な増加と医療提供体制のひっ迫等により、年が明けた1月8日及び14日に感染拡大を防止するため、合わせて1都2府8県に対して再度、緊急事態宣言を発出し、期間の延長を経て、2月末までに前倒しで宣言が解除されなかった首都圏の1都3県については、3月7日までの期限となっています。

道内においては集中対策期間における往来自粛や事業者に対する営業時間短縮要請等により、現在の感染者数は減少傾向ではありますが、宣言の解除後や対策期間終了後、人の移動等による感染の再拡大と変異ウイルスへの感染が危惧されるところです。

厚生労働省は、2月14日に米国ファイザー社製の新型コロナウイルスワクチン

を特例承認し、国内では17日からワクチン接種が開始されましたが、町内での接種開始時期は現時点では未定です。

町としては今後も引き続き感染予防対策を徹底するとともに、ワクチン接種が迅速に実施できるよう準備を進め、町民の皆様には詳細が決定次第お知らせします。

第2期興部町総合戦略の策定について

国による「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、第1期総合戦略の成果や課題を検証し、町民のニーズや社会情勢の変化を踏まえながら、めざすべき将来像を実現するため、昨年7月に設置した「興部町総合戦略策定委員会」に計画の策定について諮問し、審議いただいた結果について、3月上旬に答申される予定です。

今後は、その答申内容を十分尊重するとともに、



総合戦略の答申（令和3年3月11日）

「第2期興部町総合戦略」が目指す地方創生の実現に向けた施策を推進していきます。

高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画について

町では、令和3年度から5年度までの3ヶ年計画の策定に当たり、策定委員会に諮問していただきましたが、2月26日に計画案について答申をいただきましたので、新たな計画として決定する考えです。

また、以前から民間事業者より、町内で認知症対応型共同生活介護施設（グル

ープホーム）の運営を行いたいとの要望がありましたので、町としては令和3年度内に建設・運営を行ってもらえるものと準備を進めていきましたが、残念ながら先日撤回の申し出がありました。

今後、町としては、新たな計画期間内に町内で必要とする高齢者生活支援施設の構想づくりを進めるとともに、新たに町内において事業運営を行いたいという事業者があつた場合も、第8期計画の介護保険サービスの量の範囲内で、可能な限り支援ができるよう取り組んでいきます。



高齢者保健福祉計画の答申（令和3年2月26日）



連携協定の締結（令和3年2月9日）

バイオマス事業に係る取り組みについて

大阪大学との共同研究により進めています。メタノール・ギ酸の製造については、昨年7月15日に世界で初めて成功したことを発表しました。ところが、その実用化に向けて本年2月9日に道内の民間企業であるエア・ウォーター北海道株式会社と岩田地崎建設株式会社の2社を加えた4者による「メタノール・ギ酸を製造するプラントの開発に向

けての連携協定」を締結しました。今後は、本町をモデルとした「カーボンニュートラル循環型酪農システムの構築」に取り組んでいきます。

教育関係

興部高等学校への出願者数につきましては、2月末日現在で15名となっており、再編整備の対象となる20名未満ではありますが、地域連携特例校として再編を留保される条件である10名以上は確保できているところと

入学試験は、3月3日と4日に行われ、3月16日が合格発表となっています。今後とも興部高等学校間口確保対策協議会を中心として、議会議員の皆様をはじめ、保護者及び教育関係者のご理解とご協力をいただきながら、一人でも多くの生徒が興部高等学校に入学していただけるよう、適切な支援策を講じていきたいと考えています。



ケント・ラスムセンさん

次に、英語指導助手については、現在勤務していますケント・ラスムセンさんは、本年7月末日を以って5年間の契約期間が満了となりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、新規の英語指導助手が来日することができない状況もあることから、任期満了者については1年間に限り再任用が認められたため、本人に意思を確認したところ、引き続き興部町での語学指導を希望されたことから、令和4年7月までの1年間、興部町において英語指導に当たってもらえることとなりましたので、そのための諸手続きを進めていきます。

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について

心配されていましたが国内におけるワクチン供給も徐々に進んでおり、北海道からの指示では高齢者向け接種用のワクチンが、4月末にも興部町に配分される見込みであることから、早ければ5月のゴールデンウィーク明けより接種が開始できるよう準備を進めていきます。

なお、高齢者へのワクチン接種にあたっては、対象者全員にワクチン接種の意向確認を行った後、接種希望者に対して、あらかじめ国保病院での接種日時をお知らせすることとします。

また、ワクチン接種に関する不安や疑問に思われているご相談は、きらり（福祉保健課）で受付けていますので、一人でも多くの町民皆様にワクチン接種を受けてもらうようお願いいたします。

興部町議会ホームページのご案内

興部町議会のホームページには、過去10年間の議会だよりを掲載しています。議会だよりのほか、定例会や臨時会の日程、議会の傍聴方法などを掲載していますので、是非ご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.town.okoppe.lg.jp/cms/section/gikai/index.html>



町政ここが聞きたい!!

問 奨学金返済支援によるUIターンの促進について

藤渡 昭博 議員

答 興部町として何がいい方法なのか、もう少し検討していきたい。

裕 一寿 町長



藤渡 議員

人手不足という

ことを、町のあちらこちらで耳にするようになりまして。認定こども園の開園も令和6年に予定されていますが、幼稚園教諭、保育士に於いても、介護士、看護師に於いても人の手立てがなかなか難しいものがあると聞いています。町内の事業所も同じように、求人を出しても問い合わせすらないこともあるそうです。地方にとって人手不足は深刻

裕 町長

な問題です。人材という資源が都市部に集中し、地域格差は広がっています。地方は様々な取り組みが急務となっています。そこで、奨学金の返済支援をしてはどうかでしょうか。今、大学生の二人に一人が奨学金を受給しているとのことですが。しかし、返済には大変苦労していると聞きます。奨学金を返せずに自己破産をした人は、過去5年で延べ1万5千人に上ります。学生にとっても魅力ある取り組みだと思います。枠を高校、大学、短大、大学院、高等専門学校、専門学校としてそこを卒業し、興部町に居住し、興部町で就業した方を対象にしてはどうかでしょうか。若い人を呼び込むことは町の活性化にもつながり、これから町を担ってくれる人の人材確保につながります。

担

因、それを作り上げるのが行政の第一義の仕事だと思いいこれまで子育て環境、住宅環境など進めてきました。海外からの研修生も農業、漁業に於いて早くから入っています。これも非常に大事なことであります。が、町内出身者あるいは大学や短大等を卒業して、雇用し町内へ迎え入れることは、非常に重要な施策と考えています。事業者がどれくらいの雇用を希望し、どういうニーズの雇用を希望しているのかを、新年度へ向け把握し、答申される第2期総合戦略を受け、今年度対策の形を作っていくたいと考えています。

藤渡 議員

奨学金の返済支

援には、自治体が奨学金を貸与し、地元に住み、地元で就業すると奨学金返済の免除、または一部免除を受けられる仕組みと、日本学生支援機構などの奨学金の貸与を受け、返済支援をしている自治体に居住しそこで就業した場合、奨学金返済の全額または一部を支援するという仕組みの二通りあります。自治体が奨学金を貸与している所としては、北斗市があり月額最高で5万3千円の貸与をし、北斗市内に居住し北斗市内に就業した場合は、申請年度の償還額の全額免除、北斗市内に居住し近隣の市町に就業した場合は、申請年度の償還額の4分の3の額を免除する。もう一方の日本学生支援機構などの奨学金の返済支援については、返済支援をしている自治体に居住し、その自治体で就業することが前提で、支援期間としては5年から10年が多く、短い期間で3年、長い期間で20年という自治体もあります。金額では年額最高で18万円から24万円が多く、多い自治体では年額40万円のところもあり、近隣の自治体では湧別町、枝幸町も取り組んでおります。令和2年6月時点、全国で32府県と423市町村で奨学金返済支援に取り組

んでいます。財源にはふるさと納税を充てている所もあります。興部町のふるさと納税も2008年に2件11万円だったものが昨年度は見込みで1億2千万円、今年度は3億円の予算を組んでいます。ふるさと納税の返礼品の中にふるさと納税を奨学金返済支援にも使っていますというパンフレットなどを入れると、興部町のふるさと納税への理解も深まると思います。

碓町長

町村会が年に一回実施する試験でも、特に大学生等の希望が非常に減ってきております。奨学金での対策をするのか、それ以外の対策をするのか、例えば紋別市で実施している事業者が雇用の取り組みをすることにかかる費用への支援、採用する人への支援と両掛けの支援をしている町もあります。農業の担い手センターのように、町として担い手対策を検討するべき場所を作っていないかったことは、大変大きな反省

であります。そこも合わせて取り組んでいく中で、何が興部町としていい方法なのか、もう少し検討していきたい。

藤渡議員

興部町にとって人材の確保は喫緊の課題です。このまま生産年齢人口が減れば、町も産業も立ち行かなくなります。社人研の人口ビジョンでは興部町の人口は2060年には1千900人との予想も出ています。しかし、興部町人口ビジョンでは2060年に2千761人としています。その差861人が今まで取り組んできた施策、これから取り組む施策による施策効果だと思っています。高いハードルだとは思いますが、町を先頭にオール興部で臨めば克服できる課題だと思っています。

碓町長

興部町の主な産業は、酪農と漁業であります。今は産業形態も単一化していますから、そこへ付いていたはずの枝葉を削ぎ落してきてしまったこと

は、大きな反省点だと思います。その枝葉をどうやって構築していくのかということも合わせてやっていかなければ、ただ人に来てくださいというのではなく、こういう仕事を作るので来てくださいという形をとらなければ長続きしないのではないかと思います。実行していくのはなかなか難しいとは思いますが、今後は町がリーダーシップを取ってやっていきたいと考えています。奨学金に対する支援などについても考えていきます。



問

消防職員の定数引き上げは？

前田義雄議員

答

雇用環境の整備は必要！

碓 一寿町長



碓町長

引き上げ自体に反対している訳ではない。紋別地区消防組合も発足して50年であり、業務内容も「火災」から「白い消防」というくらい救急搬送が多くなってきている。

前田議員

町政執行方針によると、雄武、滝上支署が職員定数を14名、13名から17名に引き上げを決めているが、興部支署については「組合全体の考えを整理した上で検討する」との事だが、雄武、滝上とは同じ規模の町であり、職員の勤務体制も変則的で窮屈そうだったと思う。

「働き方改革」の観点、職員の募集、確保の面からも「定数引き上げ」が必要だと思うがどうか？

平成18年に12名から14名体制にし、当時2名だった救急救命士の有資格者が今は全員が持っている。

広域組合ですので条例で定数を決めているので、それを整理したり、消防庁の指導では宿直勤務がない事になっているが、「させている」等々の問題が組合内でも統一されていない。

また、携帯からの119番通報は全て紋別本部に入り本部から支署へ転送し支署で対応する形だが、本部に通信統合し本部から支署に連絡する体制にすれば夜



勤が4名から3名にでき
る。
ただ職員の雇用環境の整
備は必要と考えているので
業務の一本化、沙留支署に
正職員を配置する等「働き
方改革」と組合での職員一
括採用等々広域組合の充実
を図っていききたい。

問

職員増員「公助」の強化を！

前田義雄 議員

答

職員も「住民」として地域を守る活動に
参加を

裕 一寿町長

前田議員

定数の引き上げ

により支署体制の強化を図
り、消防団を含めた、消防
防災体制の総合力を高める
べきではないか。

過疎化と若年人口の減少
が続き、ボランティア型Ⅱ
共助型の体制づくりが難か
しくなってきた。

今後、どうしても公助型
Ⅱ行政力に頼る体制作りを
進めざるを得ないのではな
いか。

報道によれば過疎地では
地域を支える「働き手」の
減少で買い物、除雪等々日
常生活を支えるにも限界が
来ている。

また、札幌市では転入者
が自治会等への未加入で、
従来からの住民の負担増等
で苦情、不満が出、市が「町
内会加入促進条例」の制定

する方針という。

いずれにしても「自助」
の限界を補う「公助」、更
にそれも限界となり、「公
助」の比重が高くなってい
く。

消防だけではなく「役場」
の在り方にも影響があると
思うが、どう考えるか？

裕町長

消防団の在り方
も以前とは変って来てい
る。

様々な課題が出て来てい
るので、広域消防の在り方
をふくめ考えていきたい。

高齢化が進んでいる自治
会もあるが、近隣、近場の
関係、つまり普段のお付き
合ひの中での動きなので、
町づくりの一環として連合
会とも相談しながら進めた
い。

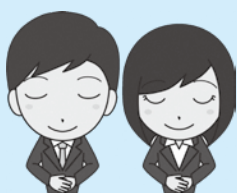
昔は職員定数削減と言っ

ていた事もあるが、
パソコン普及で逆に
ソフト更新経費が余
計にかかる現状もあ
る。

役場職員も町内に
家を建てたり住んで
いるので職員として
ではなく「住民」と
して自治会活動に参
加し、地域を守り、
隣り近所と仲良くや
ってもらうことが自
治の一番大事な事と
思う。

それを側面から支
援していくのが役場
職員であると考えて
いますので、その方
向で今後も指導して
いきたい。

議会報告会(意見交換会)延期のお知らせ



例年4月に開催しておりました議会報告会(意見交換会)につつま
して、近隣市町村での新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、延期
とさせていただくことになりました。

詳しい日程が決定次第、「町からのお知らせ」及び「議会ホームページ」
にてご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

専決処分を承認した案件

令和2年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第3号)

補正額は、5千640万円を追加し、歳入歳出それぞれ51億1千929万3千円とし、原案どおり可決した。

補正内容は、ふるさと応援寄附事業の報償金、手数料、ふるさと応援基金積立金元金の増額。

令和2年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第4号)

補正額は、220万円を追加し、歳入歳出それぞれ51億2千149万3千円とし、原案どおり可決した。

補正内容は、新型コロナウイルスワクチン接種事業の消耗品費、通信運搬費、接種体制構築業務委託料の増額。

一般会計補正予算(第8号)

補正額は、7千961万

6千円を追加し、歳入歳出それぞれ52億110万9千円とし、原案どおり可決した。

歳出の主なもの

○国民健康保険事業会計負担金 1億円増

○基金運営事業 5千495万円増

○町道維持管理事業 2千700万円増

○新型コロナウイルスワクチン接種事業 1千450万円増

○介護保険事業特別会計繰出金 654万5千円増

○バイオガスパラント運営事業 320万円増

○簡易水道事業特別会計繰出金 1千359万円減

○職員人件費 1千189万円減

○公共下水道事業特別会計繰出金 878万円減

○新型コロナウイルス感染症

症対策事業

756万円減

○後期高齢者医療療養給付費負担事業 526万円減

○紋別地区消防組合負担金 522万7千円減

○草地畜産基盤整備事業 500万円減

一般会計補正予算(第9号)

補正額は、531万円を追加し、歳入歳出それぞれ52億641万9千円とし、原案どおり可決した。

歳出の主なもの

○災害対策事業 183万円増

○基金運営事業 115万円増

○新型コロナウイルスワクチン接種事業 100万円増

特別会計等補正予算

特別会計等7会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

①令和2年度興部町国民健康保険事業特別会計補正予算 (第4号)

補正額は、258万7千円を追加し、総額6億1千197万7千円とした。

補正内容は、直営診療施設繰出金の増額、特定健康診査等事業、保健衛生普及費、一般管理費一般経費等の減額。

②令和2年度興部町後期高齢者医療に関する特別会計補正予算 (第2号)

補正額は、25万円を追加し、6千479万円とした。

補正内容は、後期高齢者医療広域連合納付金の増額。

③令和2年度興部町介護保険事業特別会計補正予算 (第4号)

補正額は、3千486万円を追加し、総額3億7千315万円とした。

補正内容は、施設介護サービス給付費、居宅介護サービス給付費、特定入所者介護サービス費等の増額、

介護予防サービス給付費、居宅介護サービス計画給付費、高額医療合算介護サービス費等の減額。

④令和2年度興部町介護サービス事業特別会計補正予算 (第2号)

補正額は、20万円を減額し、総額5千121万円とした。

補正内容は、認知症対応型通所介護サービス事業の増額、通所介護サービス事業の減額。

⑤令和2年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算 (第5号)

補正額は、699万円を減額し、総額3億1千235万円とした。

補正内容は、一般管理費一般経費、職員人件費、施設管理費一般経費、配水管移設事業、水道施設機器更新事業、住吉浄水場膜濾過設備更新事業、配水管新設事業の減額。

⑥令和2年度興部町公共下水道事業特別会計補正予算

(第3号)

補正額は、5千806万円を減額し、総額2億4千446万円とした。

補正内容は、一般管理費一般経費の増額、職員人件費、施設管理費一般経費、終末処理場維持管理事業、建設改良一般経費、特定環境保全公共下水道事業、公共下水道事業、公債費償還利子の減額。

⑦令和2年度興部町国民健康保険病院事業会計補正予算

(第2号)

補正額は、収益的収入及び支出の病院事業収益を1千53万8千円減額し、収入総額を5億9千380万2千円とし、病院事業費用を5千219万円減額し、支出総額7億1千758万円とした。また、資本的収入を100万5千円減額し、収入総額を3千522万5千円とし、資本的支出を100万円減額し、支出総額5千770万円とした。

補正内容は、他会計負担

金の増額及び年間患者数の決算見込みによる収入及び支出の減額等。

制定・改正された 条例等

- ①興部町議会会議規則の一部を改正する議会規則
- ②保健事業等の費用徴収に関する条例の全部を改正する条例の制定
- ③興部町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
- ④興部町合葬墓条例の一部を改正する条例
- ⑤興部町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- ⑥興部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ⑦興部町介護保険条例の一部を改正する条例
- ⑧興部町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
- ⑨興部町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関

する基準等を定める条例の一部を改正する条例

⑩興部町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

⑪興部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

⑫興部町公共下水道設置条例の一部を改正する条例

その他議決された 案件

- 興部町固定資産評価審査委員会委員の選任
- ・半田信氏を委員として選任することに同意した。
- オホーック町村公平委員会委員の選任
- ・佐藤明美氏を委員として選任することに同意した。

主役は
あなたです！

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は6月です○

会期：6月18日(金) (予定)

一般質問：6月18日(金) (予定)

※会期及び一般質問の日程につきましては、議事の進行等により、変更となる場合がありますのでご了承願います。

※本会議を傍聴される方は、本会議当日、役場3階傍聴席入口に直接お越しください。
傍聴人受付簿に住所、氏名をご記入いただければ、傍聴席に入ることができます。

※現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴席を11席に制限しております。
通常時の傍聴席は、28席です。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、本会議の傍聴は、発熱などで体調がすぐれない方はご遠慮ください。
傍聴時には、手指の消毒・咳エチケット（マスク着用など）にご協力をお願いいたします。

問合せ先：議会事務局 Tel 82-2135

令和3年度 予算特別委員会

委員長 前田 義雄
副委員長 藤 渡 昭博

3月8日～10日の3日間開催

【案件】各会計予算案及び関連議案14案件



令和3年度各会計予算案を 予算特別委員会に付託

令和3年度一般会計を始め6特別会計、国保病院会計の各予算案と関連する条例6議案について、3月2日設置された予算特別委員会に付託されました。

本会議委員長 報告要約

令和3年度の予算編成にあたっては、国の動向及び地方財政計画に基づき編成されたものでありますが、昨年1月に新型コロナウイルスの感染者が国内で確認されて以降、国や道は様々な対策を行っており、これに伴い、財源はより一層厳しくなることが予想され、町の財政においても非常に厳しい運営を余儀なくされることと思います。

また、コロナ禍により、地域産業においても多大な影響を受け、経営の悪化が予想されます。

令和3年度予算執行及び施策の実行においては、審

査過程において出された意見を尊重するとともに、行政サービスの実施にあたって、特に新型コロナウイルスの感染予防に関して、住民に不安を与えることがないよう、また、これから始まりますワクチン接種には、様々な困難があろうかと思いますが、万全の配慮をし、実施していただきたいと思っています。

これらのことを踏まえた上で、令和3年度予算が適切に執行されるよう望むところでです。

3月10日、すべての審査が終了し、採決の結果、令和3年度興部町一般会計予算、他7特別会計等予算並びに関連する条例6件、合わせて14議案につきまして、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、予算特別委員会に付託されました議案の審査の経過と結果を申し上げます。予算特別委員会委員長の報

告いたします。

○令和3年度興部町一般会計予算
47億7千350万円

○令和3年度特別会計等予算合計
24億6千951万円

全8会計総計

72億4千301万円

(注)令和3年度各会計予算の詳細並びに町政執行方針及び教育行政執行方針は、「広報おこっぺ4月号」に掲載されています。

予算特別委員会 での質疑

【企画財政課所管事項】

〔鈴木 精一 委員〕

Q ふるさと応援寄附事業は、予算規模も3億円と多くなっているが、現在載せているポータルサイトは1つであり、もつと載せていかなければ目標困難と思うが。

A 各事業所の方からも間口を増やしてほしいとの要望もあり、観光協会とも話を進めているところです。

【福祉保健課所管事項】

〔竹内 清 委員〕

Q 除雪サービス業務委託について、必要な人に届いていなかったり、この事業を知らない高齢者もいると思う、町としてシーズン毎に状況を確認しているのか。

A 事業自体は、社会福祉協議会に委託しているが、町としてもしつかり伝わっているか、意見を吸い上げられているか、確認のうえ事業を進めていきたい。

〔小泉 優子 委員〕

Q 福祉保健総合センター運営事業の備品で、介護ベッドを計上しているが、入所者が利用するベッドなのか。

A 今回、購入する2台の介護ベッドは、デイサービス利用者向けで、今までは背もたれや足の部分が上がらないといったものが多かったため、購入するものです。

〔竹内 清 委員〕

Q 予防接種事業のインフルエンザの予防接種について、令和2年度は、希望者全員が受けられたのか、ワ

ワクチンの在庫が無く受けられなかった人はいなかったのか。

A 国保病院に確認したところ、何件かもう終わってしまったのか問合せがあったと聞いている。

Q 令和3年度は、65歳以上に加え、18歳未満、基礎疾患がある方への助成で、ますます接種希望者が増えることが予想されるが、ワクチンの供給に対して、町として今後どう対応していくのか。

A ワクチンは、国から前年使用実績に基づいて配分される。

令和2年は、前年比10%ほど増量のワクチンを確保することができたが、1千800人分しかなく、2千人分のワクチンが不足しているため、今年も国・道へ強く要請し、ワクチンの確保を進めたい。

〔矢野 幸三 委員〕

Q 高齢者でインフルエンザのワクチンを受けたくても病院へ行く足が無い、その意思表示すらできない方がいるのではないかと思

う、実態を把握できているのか。

コロナにおいてもそういった方々の確認をどのようにするのか。

A 高齢者の接種状況は、興部地区は62%。それ以外の地域は56%で接種率が低いが、病院の送迎バス等も運行しており、利用してもらうことで接種につなげていく。

コロナのワクチン接種についても、接種する意思の確認と併せて、公共交通機関を確保できるか意向調査を行います。

その結果によって、午前の診療分のバスの巡回にプラスして午後も集落にバスを回すような形をとりたい。

Q 令和3年度のインフルエンザワクチンも昨年同様の優先順位で接種するのか。また、一般質問で依頼した管内の全額補助の実態は。

これは人口問題にもつながってくるものであり、子育てに優しい事業や福祉を進めてもらいたい。

A インフルエンザワクチンは、今年も高齢者、基礎

疾患をお持ちの方、お子さんについては、12歳以下から新年度は18歳以下を優先したい。

各地のお子さんの無料接種における接種率は概ね平均で70〜72%、本町は1回当たり1,000円の負担であるが、68%、無料にすれば伸びる可能性はあるだろう。

【住民課所管事項】

〔竹内 清 委員〕

Q ごみ減量化対策促進事業のデイスポーターについて、購入後6年を経過しなければ、次の補助金を受けられないが、5年で壊れてしまうことも考えられる。

町に対して撤廃してほしい、考えてほしいなどの要望はなかったのか、検討はしてきたのか。

A デイスポーターの導入が年々増えており、更新についても出てきている。

更新の相談の中で、壊れてしまった場合の相談は受けていない。

基本的には6年で、耐用年数を考慮して設定してい

るが、6年未満の故障については、検討したい。

【産業振興課所管事項】

〔鈴木 精一 委員〕

Q 流木の処理費用の予算はみているのか、浜の安心のためにも流木処理費というところで見える形にしてほしい。

A 水産振興費一般経費の手数料で計上している。大きな被害が発生した時は、組合と協議をした中で、被害対策として必要な経費も計上することを考えている。

〔藤波 昭博 委員〕

Q 興部町観光資源調査業務委託について、3年目の計画になるが、この業務の結果、どのようなことが町に活かされ、今後どんな方



パフェ作り

向にもっていくのか。

A この事業は興部町観光協会の収益を図るとして、観光事業が興部町に無いことから、3年間、興部町の自然を活かした観光資源を事業化していけるか調査している。

令和元年、2年度は、町内外からモニターとして大学生や一般の方を招き入れ、釣り船・パフェ作り・キャンプ等を実施し、3年目は、観光を商品にできるのか金額設定に関しても調査を行い、コロナ禍で事業の組立に時間がかかると思うが、4年目からひとつずつ事業化していきたい。



冬のアウトドア体験

【総務課所管事項】

〔竹内 清委員〕

Q 電気自動車の購入について、今回の導入にあたり、試験運用を行ったなかで、走行距離や蓄電、給電、四輪駆動ではないなどの不安な声はなかったのか。

A 約2カ月間試験運用を行い、性能的に450kmは走行できるとあるが、夏と冬の消費性能の違いもあり、大変だったというの聞いています。

運転については、不安の声は聞いていない。

【教育委員会所管事項】

〔竹内 清委員〕

Q 沙留農村広場のグラウンド補修があるが、令和2年度の実績と3年度の使用予定はあるか。

A 2年度については、沙留の子が所属する紋別の野球チームで計16回使用している。

今後については、各団体での練習場所として使用してほしいというお話をしている。



沙留農村広場グラウンド

〔藤渡 昭博委員〕

Q 米田御殿の寄贈について、興部町歴史的遺産保存審議会ですら承してもらったことが必要かと思うが。

A 平成8年頃に教育委員会へ移管され、その時点で保存審議会は無くなり、その代わりとして、社会教育委員会の中で審議することになり、次回の委員会では、報告し取り上げていく。

【収納対策委員会所管事項】

〔竹内 清委員〕

Q 令和2年9月に行われた決算特別委員会において、意見・指摘事項として、町税を始めとした各種使用料等の未収金について、新たな取り組みによる滞納の発生防止と、未収金の早期



米田御殿

解消に向け、町税等滞納者に対する行政サービス制限措置に関する条例を再検討し、収納率の向上に努めることと指摘したが、そのことに関してどのように検討がなされたか。

A 指摘事項については、項目の洗い出しを進めているが、効果的なものが見つかっていないため、年度内での条例の再検討には至っていない。

収納対策については、各担当が一生懸命に実施した結果、試験的ではあるが、直接徴収を行い一定程度の成果を出していることから、新年度で様子を見ながら実施し、条例の再検討についても適切な項目の洗い出しを進めていく。

臨時会報告

令和3年

第1回町議会臨時会

4月28日(水)に開会され承認案件4件、議案4件が審議されました。

行政報告

新型コロナウイルス感染症

国内におけるコロナウイルスの感染拡大は、まん延防止重点措置の実施だけでは抑え込むことができず、4月23日に東京都、京都府、大阪府、兵庫県に対し、国内で3回目の緊急事態宣言(4月25日から5月11日まで)が発出されました。

これを受け本町でも4月25日付けで興部町新型コロナウイルス感染症対策本部を設置したところです。

町としては今後も町内での感染予防対策を徹底するとともに、町民の皆様には

緊急事態宣言の実施区域や感染者が増加傾向にある札幌市への往来を控えるなど、特にゴールデンウィーク中における感染防止行動の実践をお願いするものです。

一方、待望のコロナワクチンが5月2日に国保病院へ入荷となりますので、連休明けの5月第1週目の6日と7日で早速医療従事者への接種を開始し、第2週目には高齢者の入院患者、施設入所者、介護従事者の方々を優先し接種していきます。

また、予め接種希望を聞いております高齢者の皆様方は、第3週目より一部接種を始める予定となっております。

今後もワクチンの供給状況にもよりますが出来るだけ早い段階で多くの町民の皆様が接種できるよう努めていきます。

興部町交通事故死

ゼロ5、000日達成

平成19年8月から継続し

ておりました町内における交通事故死ゼロの日が本年

4月24日をもって5、00

0日に達成し、昨日、興部

町交通事故死ゼロ5、00

0日達成記念式典を中央公

民館で挙行したところです。

式典では日頃から交通安

全運動にご尽力いただい

ております関係者をお招き

し、北海道知事、興部警察

署長並びに公益社団法人北

海道交通安全推進委員会様

から興部町交通安全推進委

員会をはじめ各関係団体や

指導員へ感謝状が贈られま

した。

また、興部町からは昭和

九年戌年会をはじめ、永年

にわたり町内における交通

安全の推進に多大な貢献を

いただいた6団体に対し感

謝状を贈呈したところです。

町としては、これを機に

今後も交通安全に対する心

構えを一層強く持ち、まず

は交通事故死ゼロ5、50

0日を目標とする中で、引

め、各団体や各事業所等と
一体となって交通安全に努
めていきます。

専決処分を承認した案件

○令和2年度興部町一般会

計補正予算

(専決処分第5号)

補正額は、583万9千

円を追加し、歳入歳出それ

ぞれ52億1千225万8千

円とし、原案どおり可決し

た。

補正内容は、3月上旬の

降雪及び風雪による吹き溜

まりの影響により除雪出動

回数増加に伴う委託料、

2月の暴風により被害を受

けた沙留汚水処理場の屋根

修繕に係る追加修繕分の増

額。

○令和2年度興部町国民健

康保険事業特別会計補正

予算

(専決処分第1号)

補正額は、補正前と同額

で、歳入歳出それぞれ6億

1千197万7千円とし、

原案どおり可決した。

補正内容は、補助金の確

定に伴う財源調整。

補正予算
(専決処分第1号)

補正額は、2千248万

円を追加し、歳入歳出それ

ぞれ47億9千598万円と

し、原案どおり可決した。

補正内容は、地域おこし

協力隊の募集業務に係る委託

経費、4月11日執行の町議会

議員補欠選挙に係る執行経

費、新型コロナウイルススワ

クン接種に係る医療機関との

接種業務委託料、町民がP

C検査を実施した場合の検査

費助成金の増額。

○令和3年度興部町公共下水

道事業特別会計補正予算

(専決処分第1号)

補正額は、10万円を追加

し、歳入歳出それぞれ3億

2千801万円とし、原案

どおり可決した。

補正内容は、4月1日付

けの職員人事異動による住

居手当の新規計上。

○令和3年度興部町一般会

計補正予算

(第1号)

補正額は、1億761万

円を追加し、歳入歳出それ

ぞれ49億359万円とし、

原案どおり可決した。

歳出の主なもの

○新型コロナウイルス感染

症対策事業

4千28万円増

○簡易水道事業特別会計繰

出金

3千55万円増

○橋梁長寿命化事業

1千200万円増

○商工会振興補助事業

720万円増

○興部町観光推進事業

500万円増

○保健予防事業

330万円増

○新型コロナウイルススワ

クン接種事業

330万円増

○興部秋里間道路改築事業

300万円増

特別会計2会計で補正予

算が提案され、原案どおり

可決した。

①令和3年度興部町簡易水

道事業特別会計補正予算

5千31万円とし、原案どお

り可決した。

補正内容は、新型コロナウイルス感

染症への経営・

経済支援対策として、対象

者の水道使用料の一部(基

本料金)または全額につい

て、6箇月間の免除に係る

予算を補正。

②令和3年度興部町公共下水

道事業特別会計補正予算

(第1号)

補正額は、補正前と同額

で、歳入歳出それぞれ3億

2千801万円とし、原案

どおり可決した。

補正内容は、新型コロナウイルス

感染症への経営支

援対策として、飲食店及び

宿泊業者の下水道使用料の

全額について、6箇月間の

免除に係る予算を補正。

その他議決された案件

○興部下水終末処理場電気設

備更新工事請負契約締結

契約金額 5千60万円

契約の相手方

北海道三菱電機販売

議会の構成が変わりました



前田 義雄



阿部 昭一



山川 孝義



小泉 優子



竹内 清



藤渡 昭博



桑辺 博教



鈴木 精一



矢野 幸三

副議長の佐藤吉春議員の
辞職に伴い、3月2日の定
例会において、副議長の選
挙を行い、新しい副議長
に、阿部昭一議員が選出さ
れました。

産業建設常任委員会委員
長の阿部議員が副議長に選
出されたことから、委員の
互選を行い、新しい委員長
に藤渡昭博議員が選出され
ました。

また、4月11日に補欠選
挙が行われ、桑辺博教氏が
当選されました。
補欠選挙後の初議会が4
月28日に開会され、欠員と
なっていた委員の選任や変
更が報告され、町議会の構
成が変わりました。

総務社会常任委員会

委員長 前田 義雄
副委員長 小泉 優子
委員 山川 孝義
委員 矢野 幸三
委員 桑辺 博教

議会改革特別委員会

委員長 阿部 昭一
副委員長 竹内 清
委員 山川 孝義
委員 前田 義雄
委員 小泉 優子
委員 矢野 幸三
委員 藤渡 昭博
委員 鈴木 精一
委員 桑辺 博教

議会広報特別委員会

委員長 鈴木 精一
副委員長 藤渡 昭博
委員 阿部 昭一
委員 竹内 清
委員 桑辺 博教

産業運営委員会

委員長 竹内 清
副委員長 小泉 優子
委員 阿部 昭一
委員 前田 義雄
委員 藤渡 昭博

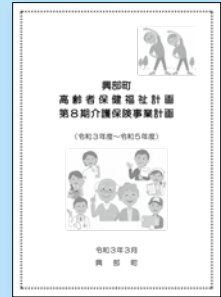
産業建設常任委員会

委員長 藤渡 昭博
副委員長 竹内 清
委員 阿部 昭一
委員 鈴木 精一

所管事務調査報告

総務社会常任委員会

高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画について



2月12日総務社会常任委員会所管事務調査として高齢者保健福祉計画、第8期介護保険事業計画について介護支援課、浜田課長、鎌田所長、岡崎係長の説明を受けました。

高齢者保健福祉計画、第8期介護保険事業計画は令和3年度から令和5年度までの3年間の計画です。全てに共通する主な改正内容としては昨年より世界中に蔓延している新型コロナウイルス感染症の対策強化などが改めて加わっています。

興部町高齢者福祉事業として社会福祉協議会へ委託している高齢者デイサービス、訪問介護他、高齢者生活支援ハウス内での生活介護、わたぼうしへ委託している高齢者下宿内生活介護、ぬくまーるでのデイサービスがあります。

高齢者生活支援ハウスでは要介護度3以上になると入所不能となり退所し他市町村の入所施設利用となります。

また、受入施設を探すがとても大変です。

高齢者が理想としている最期まで町内で生活ができる施設はありません。

国の政策により地域密着型施設となり地元優先となっています。

第8期介護保険事業計画では興部町に地域密着型サービス施設として小規模多機能型居宅介護（※1）事業所建設を計画しております。

小規模多機能型居宅介護事業所ができる、29名の登録制となり、訪問介護他、デイサービス、ショートステイ「短期入所施設」が実施可能となる予定です。

高齢者支援ハウスも小規模多機能型居宅介護事業所と連携しどのような活用になるかは今後検討するとしています。

昨年秋季より下川地方で介護事業を展開していた法人事業所が町内にグループホーム建設計画でしたが、



撤回となり残念です。

令和3年度より介護保険料の基準料金は4千300円（月額）に変更となる予定です。

第8期介護事業計画で小規模多機能型居宅介護事業所ができることは現在興部町内で在宅支援されている各事業所が集約され、住民が利用しやすい事業になることを期待します。

（記：総務社会常任委員会 副委員長 小泉 優子）

（※1）小規模多機能型居宅介護・・・

小規模多機能型居宅介護は、平成18年4月の介護保険法改正により生まれた地域密着型の介護保険サービスです。一つの事業所（施設）で通所介護（デイサービス）のような「通い」、訪問介護（ホームヘルプ）のような「訪問」、短期生活入所介護（ショートステイ）のような「泊り」を組み合わせ、在宅（自宅）での生活を続けられるよう、自宅と小規模多機能型施設を行ったり来たりしながら、利用者が住み慣れた地域での生活を支援します。

小規模多機能型居宅介護サービスと他の在宅介護サービスの大きな違いは、3つのサービスを1つの事業所で行うため、利用者一人ひとりに合わせた柔軟な支援が行えます。

議会の動き

令和3年2月15日以降

2月22日・遠紋地区市町村議会事務局長会議

24日・西紋別地区衛生組合議会運営委員会

25日・オホーツク町村議会議長会第4回定期総会

26日・議会運営委員会例会（1日目）

3月2日・第1回町議会定例会（1日目）

4日・議会運営委員会第1回町議会定例会（7日目）

8日・第1回町議会定例会（7日目）

9日・予算特別委員会（1日目）

10日・予算特別委員会（2日目）

10日・予算特別委員会（3日目）

12日・議会全員協議会第1回町議会定例会（11日目）

23日・第1回広域紋別病院企業団議会議定例会

・第3回社協評議員会
26日・紋別地区消防組合議会定例会

・西紋別地区衛生組合議会定例会

4月19日・オホーツク町村議会事務局長会議及び定期総会

21日・議会広報特別委員会

22日・Farm to mo 竣工式

23日・議会全員協議会第27回町議会定例会（7日目）

27日・興部町交通事故死ゼロ5000日達成記念式典

28日・議会運営委員会第1回町議会臨時会

・議会改革特別委員会

・議会広報特別委員会

30日・米田御殿寄贈式

5月2日・興部町成人式々典

10日・オホーツク町村議会議長会第5回定期総会

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義

3月10日、4月23日、協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行いました。

3月10日

○令和2年度一般会計補正予算（第9号）について

・町議会議員補欠選挙執行経費について

・2月16、17日の低気圧通過に伴う暴風による公共施設の破損個所の修繕について

・地域おこし協力隊の募集にかかる委託事業の専決処分について

・福祉保健課所管の補正予算について

4月23日

○地方創生臨時交付金を活用した新型コロナウイルス感染症経済対策支援等事業について

・興部町経営持続化家賃支援事業について

・新型コロナウイルス感染症対応店舗等感染予防対策支援事業について

・公共施設における新型コロナウイルス感染症予防対策事業について

・商工会プレミアム商品券事業について（商工会振興補助金）

・都市への特産品販売強化支援事業について（興部町観光協会補助金）

○新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した上下水道料金の減免支援について

・飲食店・宿泊業に対する経営支援対策

・一般家庭・事業所等に対する支援対策

○新型コロナウイルス予防接種事業について

○新型コロナウイルス対策関連補正予算の計上について

○興部秋里間道路相続登記未了地整理業務の経過報告及び今後の対応について

議会運営委員会

委員 委員長 竹内 清

2月26日、3月4日、4

月28日、委員会を開催し次の事項について審議しました。
2月26日

○令和3年第1回議会定例会の運営について

○議会報告会（意見交換会）について

3月4日

○令和3年第1回議会定例会の運営について

4月28日

○令和3年第1回議会臨時会の運営について

議会改革特別委員会

委員長 阿部 昭一

3月12日、4月28日、委員会を開催し次の事項について協議しました。

3月12日

○今後の進め方について

○次回の課題検討項目と開催日について

4月28日

○なり手不足対策協議事項課題検討項目(3)「年金制度」(4)「兼業（請負）禁止」(5)「兼職禁止」の再検討について

○次回の課題検討項目と開催日について

○次回の課題検討項目と開催日について

今回の 表紙

全日本空手道連盟 和道会興道館

4月9日に空手少年団「和道流興道館」を訪ねました。

団員21名（幼児2名、小学生14名、中学生4名、高校生1名）で、指導者は笹岡道場主（4段）、厚谷氏（2段）、若井氏（2段）、馬場氏（2段）の4名。

寸止め空手は、大きく4大流派があり、和道流はその一派で、柔術を取入れ、投げ技や足技が多いことが特徴です。

団のモットーは「礼節を重んじ、心身の鍛錬をする」とのこと、気合の入った練習に圧倒されっぱなしでした。

先生や子どもたちの一生懸命な練習風景に大きな感



写真1 形

動をもらいました。

【写真1】形

笹岡那央さん（中1、2級）形・チントウ

解説：形は15種類あり、その中のチントウは、立ち技の変化に富み、細かい敏捷性が要求される最も難易度の高い形であり「チントウをこなせてこそ和道」と言われているそうです。

【写真2】組手

加藤青空さん（高1、初段）及川里音さん（中3、初段）解説：加藤さんは、全道大会優勝と高校に空手部を作



写真2 組手

ることが目標。

及川さんは、全道強化選手で、この組手では後ろ回し蹴りがさく裂し、見事優勢勝ちとなりました。

【インタビュー】

今須悠真さん（小1）

は、2人でやれる組手が好きですが、練習時間が長いのが少々つらいようです。がんばれ小学校1年生。

中学2年生の櫻木雪姫乃さん（1級）は、小学校6

年生の時にオホーツク大会で組手1位になったことが一番嬉しいことで、今は黒帯が目標です。

編集後記

待ちに待った季節の到来です。新型コロナウイルスの接種も医療従事者から始まりましたが、国民みんなにいきわたるまでには、まだまだ時間がかかるようです。変異株の感染拡大も懸念され気の抜けない状況が続いています。今、地球温暖化により永久凍土が溶け出しています。地球の陸地面積の約2割が永久凍土で、そこに眠る膨大な天然資源に注目が集まっています。同時に永久凍土内のメタンガスが大気中に放出されれば地球温暖化を更に加速させてしまいかねません。また長い間氷に閉じ込められていたウイルスや病原菌が放出されれば、新型

コロナ感染症のようなパンデミックが再び起こるのではないかと危惧されています。ここきて日本政府も産業界も脱炭素社会に向け舵を切り出しましたが、世界各国ではまだまだ取り組みには温度差はあるようです。いずれにしろ、三密を避ける、距離を保つ、手洗いマスクは忘れないなどこれからも辛抱の時はしばらく続きますが、みんなで乗り切っていきましょう。

（記）広報特別委員会

副委員長 藤渡 昭博

広報委員長	鈴木 精一
副委員長	藤渡 昭博
委員	阿部 昭一
委員	竹内 清
委員	桑辺 博教
議会議務局長	須田 寿史
議会議務局主事	佐藤 麗華